

ちりふしゅく

池鯉鮒宿

池鯉鮒宿データ

〔東海道宿村大概帳〕
〔江戸時代末期〕より

日本橋から 84里17町7間(約331.8km)

旅籠 35軒 本陣 1軒 脇本陣 1軒

宿人口 1,620人 家数 292軒

かきつばた薫る、業平ゆかりの八橋の里。

現在、「知立」と表記される地名だが、かつて鯉や鮒の多く住む池があったことにその名が由来する。平安時代の歌人在原業平が詠んだ“八橋のかきつばた”は、池鯉鮒宿の東北に位置する「無量寿寺」に今も咲き誇っている。

広重が浮世絵のテーマに選んだのは、首夏、つまり陰暦四月二五日から十日ほどこの宿で開かれた大規模な馬市で、甲斐や信濃からも馬が集まり、毎年数百頭が取引された。東海道の松並木に建つ「馬市の碑」は、その歴史を静かに物語る。

さて東海道の名物の中でも池鯉鮒宿の人気といえば、「知立神社」のまわし除けの御札で、旅人はこぞ買って買求めた。江戸から伊勢山田まで一四里(約456キロ)、片道十二日の道中でまわしに悩まされることも多かったのだろう。しかし「生き物を殺すべからず」とお伊勢参りの心得に従おうとした、往時の人々の心が察せられる。



池鯉鮒「首夏馬市」

毎年首夏(4月の異称)に開かれた馬市。中央奥には馬の値段を決めた談合松が見える。

名所・旧跡 みどころガイド

知立神社



江戸時代東海道三社の一つに数えられた名社。境内に建てられている多宝塔は国指定重要文化財。

● 知立市西町神田12

知立駅より
徒歩10分

無量寿寺



奈良時代の創立と伝えられる名刹。5月に開花する「かきつばた」の名勝地としても知られる。

● 知立市八橋町寺内61-1

三河八橋駅より
徒歩8分

東海道松並木



慶長9年(1604)、幕府の命により、日差しや風雪から旅人を守るために整備された松並木。

● 牛田駅より
徒歩10分

● 知立市山町東並木北

馬市の碑



東海道松並木には、かつて開かれていた「馬市」の跡を記した碑が立っている。

● 牛田駅より
徒歩10分

● 知立市山町東並木北

落田中の一松(かきつ姫公園)



伊勢物語の中で、かきつばたを観賞した在原業平が松の木の下で句を詠んだと伝えられる。

● 三河八橋駅より
徒歩15分

● 知立市八橋町大流27-93

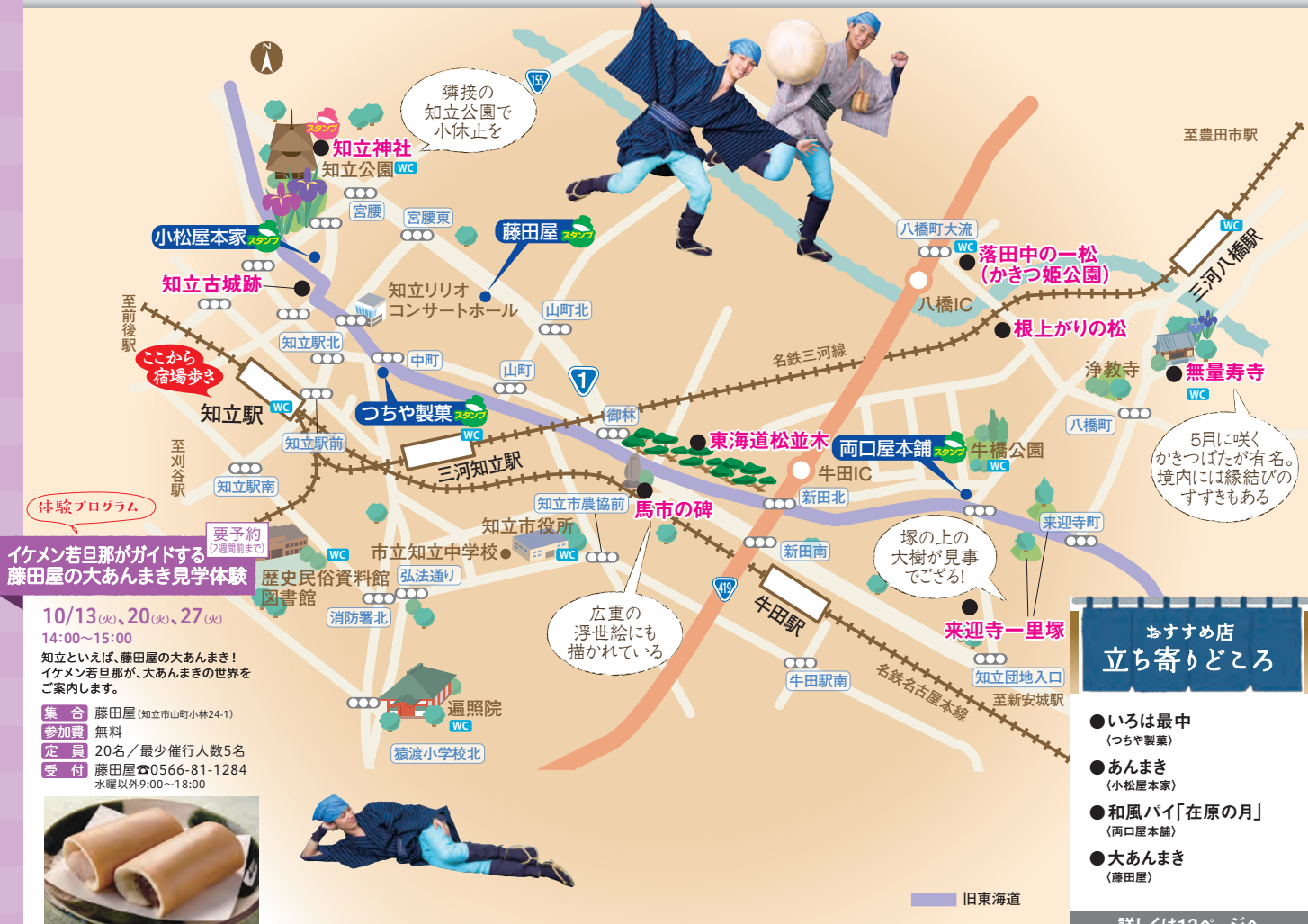
来迎寺一里塚



江戸から数えて83番目の一里塚。街道の両側の塚が今も残る貴重な文化財。

● 三河八橋駅より
徒歩15分

● 知立市来迎寺町足軽



※イラストマップであり、実際の距離と異なります。 ※写真はすべてイメージです。

池鯉鮒宿に関するお問合せは 知立市観光協会 ☎0566-83-1111 平日9:00~17:00

詳しくは13ページへ